

トピック(テーマ)	松井須磨子		
ねらい	平成31年は松井須磨子没後100年に当たるが、日本最初の女優、その炎の如き一生、女性解放実践の第一人者としての須磨子人気は衰えを見せない。		
キーワード	牡丹刷毛(ぼたんばけ) 前澤誠助 女優 坪内逍遙 文芸協会 島村抱月 芸術座 須磨子芸術倶楽部 松代 人形の家 カチューシャの唄 ゴンドラの唄 中山晋平		
概要を知るためのツール	1	書名	牡丹刷毛
		著者名	松井須磨子
		出版社	新潮社
		出版年	1919
	内容紹介	冒頭の「私の故郷」[幼い涙]の少女時代、最初の結婚と離縁、文芸協会から島村抱月の指導のもと、「人形の家」のノラ役などで脚光をあびた日本最初の女優・松井須磨子の自叙伝。	
	2	書名	女優の愛と死
		著者名	戸板康二／著
		出版社	河出書房新社
		出版年	1963年
	内容紹介	演劇評論家の作者が、丹念に資料や証言をあたって書き上げた松井須磨子評伝。	
	3	書名	恋の哀史須磨子の一生 (伝記叢書):伝記・松井須磨子
		著者名	秋田雨雀／著
出版社		大空社	
出版年		1999.3	
内容紹介	島村抱月と芸術座を旗揚げし、「カチューシャの唄」の大流行など、新劇大衆化への道をつくった松井須磨子の生涯を描く。1919年日本評論社出版部刊の復刻。		
資料リスト	1	書名	逍遙、抱月、須磨子の悲劇:新劇秘録
		著者名	河竹繁俊／著
		出版社	毎日新聞社
		出版年	1966年
	内容紹介	著者は明治42年に坪内逍遙が主宰する文芸協会の演劇研究所で松井須磨子と同窓生だった。その講師の一人が島村抱月であり、逍遙、抱月、須磨子をよく知る著者の新劇秘録。	
	2	書名	松井須磨子物語
		著者名	小沢さとし／著
		出版社	ほうずき書籍
		出版年	2013.8
	内容紹介	歌舞伎の重い壁を打ち破って、分かりやすい日本の近代劇の扉をこじ開けた女優、松井須磨子。彼女の直言直行の情熱的な生き方を描く。	
	3	書名	信州人物風土記・近代を拓く [1]
		著者名	宮坂勝彦／編
		出版社	銀河書房
		出版年	1989.5
	内容紹介	松井須磨子の伝記	
	4	書名	松井須磨子
著者名		川村花菱／著	
出版社		青蛙房	
出版年		2006年9月	

		内容紹介	名優・松井須磨子。身近で見た須磨子と島村抱月の愛憎劇の真相を知る人の生々しい回想記。
	5	書名	須磨子への旅：前澤誠助との出会いと別れ 島村抱月の愛と苦悶
		著者名	宮下明彦
		出版社	上田図書館倶楽部／制作
		出版年	2009年3月
		内容紹介	須磨子の18歳から21歳までは空白の4年間とされるが、その4年間の足跡を地元研究者の成果などとともに辿る。
雑誌	1	論題名	女優・松井須磨子とその時代
		著者名	宮坂勝彦／著
		雑誌名	市誌研究なごの
		出版年	2017.3
		巻号頁数	第24号
	2	論題名	かるかや山西光寺の玉垣と松井須磨子～十七歳の花嫁説と二十歳結婚説をめぐって～
		著者名	宮坂勝彦
		雑誌名	市誌研究なごの
		出版年	2018.3
		巻号頁数	第25号
インターネット情報	1	サイト名	NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会
		URL	http://yume-matusiro.blogdekoken.jp/article/13485730.html
		概要	信州松代地域に潜在している文化遺産を一つ一つ掘り起こして光を当てて、磨きあげ全国に発信している。
	2	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
	3	サイト名	国立国会図書館サーチ
URL		http://iss.ndl.go.jp/	
新聞	1	記事	松井須磨子芸術倶楽部
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2019.1.6
	2	記事	ゆかりの史跡をたどる
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2018.4.25
	3	記事	松井須磨子の悲嘆
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2018.2.13
パンフレットその他	1	名称	松井須磨子展 ふるさとの道、遥かに
		発行機関	松井須磨子展実行委員会
		年月日	2003年
		内容	特別展図録